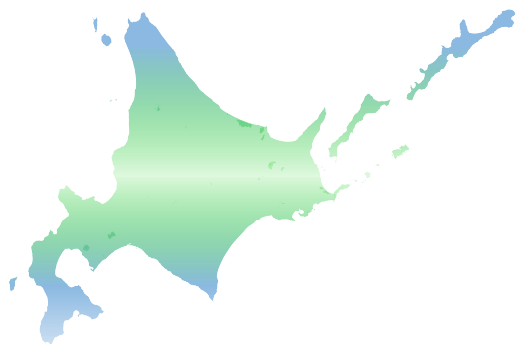


令和3年度在宅医療推進に係る取組実績について (北海道在宅医療推進支援センター等)



令和4年（2022年）9月6日
北海道保健福祉部地域医療推進局
地域医療課

令和5年度（2023年度）に向けた推進方針

R3.1.22地域医療専門委員会
在宅医療小委員会資料

総論：圏域ごとの課題設定

○ 現状分析・課題設定

在宅医療の提供体制を検討するために引き続き「地域単位」ごとに現状分析・課題設定を実施し、R5年度（2023年度）までに実施することを地域の関係者間で共有。
併せて、地域ごとの課題に応じて、在宅医療推進支援センター等により支援を行う。

各論①：提供体制の構築

○ 在宅医療に関する医師

- ・ 訪問診療等の実施に際しての「心理的なハードル」を下げ、医師等が在宅医療に参入してもらうため、在宅医療に関する研修会（制度、診療報酬、24時間対応等在宅医療を実施する上でのノウハウ）を開催。
- ・ 道内外の医療機関の在宅医療実施の先進事例（ICTの活用例など含）を集め、ホームページ、保健所の多職種連携協議会等で情報提供する。

○ 効果的な補助事業

医療介護総合確保基金を活用した補助事業（医療機関の連携体制、後方支援体制の確保に対する支援など）を実施。

各論②：関係者間の連携促進、人材の育成と資質向上、普及啓発

○ 先進事例等の共有

各圏域等における取組状況（市町村の在宅医療介護連携推進事業含む）の精査を進め、「地域の医療資源の状況に応じた取組」や「先進事例」について、事例集の作成や全道研修会の開催を通じて、広く関係者で共有。

○ 入退院ルール等の取組の推進

連絡窓口の共有、入退院時の連携ルール、情報共有の取組など連携を促進するために重要と考えられる取組（各圏域・地域単位版ルールの共有等）について、全道的に取組が進められることを目指す。

各論③：人生の最終段階における医療・ケア、急変時対応の推進

○ 医療従事者向け・住民への普及啓発

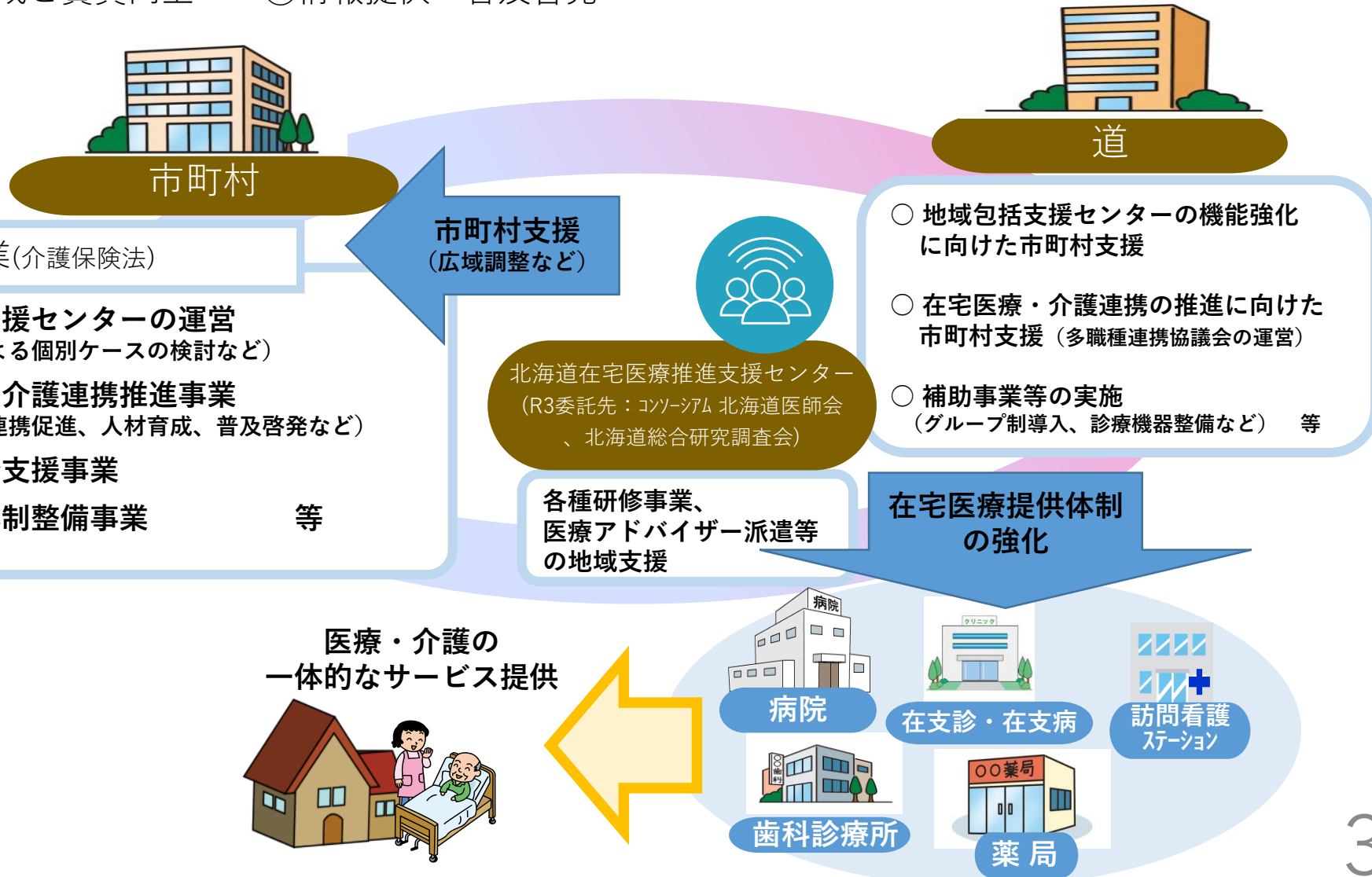
医療従事者等向けに「人生会議（ACP）」に関する研修会を実施するとともに、「人生会議」の住民向け普及啓発（セミナーの実施等）も実施していく。

道における在宅医療の推進に向けた施策

R3.1.22地域医療専門委員会
在宅医療小委員会資料

在宅医療の推進に向けた取組

- ①提供体制の構築
- ②関係者間、道と市町村間の連携促進
- ③人材の育成と資質向上
- ④情報提供・普及啓発



1 各医療圏域又は地域単位の現状・課題分析

(1) 医療圏域・地域単位等による在宅医療整備・実施状況の把握と整理

<実施内容>

KDBデータを整理して、地域単位における在宅医療整備・実施状況を概観できる資料を作成（参考資料1－1）

(2) 北海道内の在宅医療の提供に係る実態・課題の把握

<実施内容>

北海道における在宅医療の提供に係る実態や課題を把握することを目的として、保健所及び医療機関へのヒアリング調査を実施。（参考資料1－2）

<ヒアリング実施地域>

ヒアリング対象	地域単位	実施日
名寄保健所	上川北部	令和3年 6月25日
岩見沢保健所	南空知	令和3年 7月 6日
根室保健所	根室市	令和3年 7月14日
渡島保健所	渡島東部・渡島西部	令和3年 7月27日
中標津保健所	中標津	令和3年 7月28日
滝川保健所	中空知	令和3年12月 7日
帯広保健所	帯広市、東十勝、西十勝、南十勝、北十勝	令和3年12月13日
上川保健所	上川	令和4年 1月11日
北見保健所	北見	令和4年 1月17日

2 コーディネーター・医療アドバイザーの派遣

<実施内容>

【目的】

各圏域等の在宅医療提供体制について、各保健所、多職種連携協議会、市町村等が持つ課題に対する相談・助言を行う。

【実施体制】

- ・コーディネーター
在宅医療の知識を有し、在宅医療の実施・推進に向け、医療機関等に対し、在宅医療の実施・推進に向けた相談・支援
- ・医療アドバイザー
在宅医療の専門的な知見に基づき、地域の関係機関や医療機関に対し、在宅医療の推進に向けたアドバイス・助言

【実績】

(1) 個別対応

北見市、三笠市（在宅医療の実施を検討する医師等からの相談対応）

(2) モデル地区への派遣

羊蹄地域、苫小牧地域（関係機関に対するヒアリング調査、在宅医療推進に関する相談・助言を実施）

（参考資料1ー3）

○コーディネーター

- ・多職種学習会 令和3年12月21日

○医療アドバイザー

- ・診療報酬勉強会 令和3年 9月21日
- ・情報交換会(第1回) 令和3年10月26日
- ・情報交換会(第2回) 令和4年 2月22日

3 在宅医療に係る先進事例集の作成

<実施内容>

北海道内外の在宅医療を先行的な取組を行っている地域について、当該地域の医療機関へヒアリング調査を実施し、先進事例集を作成。（参考資料1－4）

在宅医療の具体例などについて

- ・在宅医療実績・継続のポイント
- ・在宅医療の実施状況（タイムスケジュール等）
- ・訪問診療・往診時に携行する物品等

ヒアリング対象	地域単位	実施日
駒木クリニック	日高	令和3年10月11日
中島内科	余市	令和3年10月15日
道立羽幌病院	留萌	令和3年12月22日
名寄市立風連国民健康保険診療所	上川北部	令和3年10月 7日
町立下川病院	上川北部	令和3年10月 8日
国民健康保険由仁町立診療所	南空知	令和3年10月27日

4 在宅医療に係る各種研修会の実施①

(1) 在宅医療に係る医師等向け研修

【目 的】

在宅医療に従事している、又は従事しようとする医師等の在宅医療に対する「心理的なハードル」を下げ、在宅医療への新たな参入を促すため、在宅医療の制度や診療報酬などに関する知識の習得を目的とした研修をテーマごとのオンライン研修として実施する。

【開催実績】

第1回：令和4年1月26日（水） 148名

第2回：令和4年2月15日（火） 127名

第3回：令和4年2月19日（土） 117名

場 所：札幌会場から全道へのリモート配信により開催

【対 象】

- ・在宅医療に従事している、又は従事しようとする医師
- ・訪問看護師、在宅医療・介護連携に係わる市町村職員 など

【開催方法】

- ・ウェビナーによるリモート開催

(2) 在宅医療に係る同行研修

在宅医療に従事しようとする医師が、実際の在宅医療を実施する医療機関の医師とともに在宅患者宅に同行することにより、在宅医療の実際を経験する研修。

【対 象】

在宅医療に関心のある医師、在宅医療を開始しようと考えている医師など
新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度に延期

4 在宅医療に係る各種研修会の実施 ②

(3) 人生会議（ACP）普及に向けた医療従事者向け研修

【目的】

人生の最終段階における医療に関する患者の相談に適切に対応できる体制を強化するため、医療従事者等に向けた研修をテーマごとのオンライン研修として実施する。

【対象】

- ・医療機関等において人生の最終段階における医療・ケアに関する意思決定に携わっている・携わろうとしている医療・介護従事者
- ・市町村の在宅医療・介護連携推進事業担当者 等

【開催実績】

第1回：令和4年2月 6日（日） 4 2 3 名

第2回：令和4年2月23日（水） 4 0 5 名

第3回：令和4年3月19日（土） 1 6 8 名

場 所：原則札幌会場から全道へのリモート配信により開催

(4) 在宅医療及び人生会議（ACP）に係る住民向け研修

【目的】

北海道民の在宅医療への理解及び人生会議（ACP）の普及・啓発を目的とした研修を実施する。

【対象】

北海道内の在宅医療等に関心のある住民

新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度に延期

4 在宅医療に係る各種研修会の実施 ③

(5) 全道の多職種連携協議会の構成員等を対象とした研修

【目的】

北海道内の在宅医療推進のためには、各自治体における在宅医療に係る課題の明確化や取組の検討について、関係する多職種が連携して取り組むことにより効果的に実施することが求められる。

本セミナーは、地域において多職種の連携をコーディネートする役割を持つ「多職種連携協議会」の構成員及び「市町村在宅医療・介護連携推進事業」の担当者を対象に、効果的な多職種連携のコーディネートのあり方について学ぶことを目的とする。

【開催実績】

時 期：令和3年11月4日（木）

場 所：札幌会場から全道へのリモート配信

（講師・関係者はTKP札幌ビジネスセンター赤れんが前）

対 象：多職種連携協議会構成員、市町村職員、保健所職員 等

出席者：54名

5 運営協議会等の開催

(1) 運営協議会（委員12名）

開催回数 2 回（令和 3 年 9 月 24 日・令和 4 年 3 月 30 日）

(2) 実務者連絡会議

開催回数 2 回（令和 3 年 7 月 1 日・令和 4 年 1 月 19 日）

(3) ワーキンググループ

開催回数 2 回（令和 3 年 7 月 8 日・10 月 27 日）

多職種連携協議会の主な取組（令和3年度）

医療・介護などの専門職が協働し、地域の実情に応じた在宅医療の提供体制を構築するため、道立保健所等を事務局とし、概ね第二次医療圏ごとに設置。医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員、医療ソーシャルワーカー、リハビリ専門職、市町村職員など在宅医療に関わる多職種で構成運営。

①地域の医療・介護資源及び機能等の把握、連携上の課題の抽出及びその対応策の検討、②在宅医療従事者の負担軽減と効率的な医療提供に向けた取組、③多職種合同研修のほか、テーマ別学習会・症例検討などの人材育成、④地域住民への普及啓発

1 会議等

二次医療圏	所管保健所	内容
後志	倶知安・岩内	【在宅医療専門部会】 内 容 「在宅医療の提供体制」について 羊蹄山麓での在宅医療推進の取組について
中空知	滝川	【在宅医療領域検討会議】 参加者 検討会議構成員（市町） 内 容 ①市町での取組②エンディングノートの活用③独居高齢者の意思確認 ④関係機関・住民向けの取組
十勝	帯広	【在宅医療専門部会兼多職種連携協議会】 ○出席者 25名（部会委員17名、事務局8名）その他19市町村に資料送付 ○主な内容 「十勝地域における入退院時連携ルールの改定について」 「各所属団体の取組」 【南十勝3町村在宅医療介護連携推進会議（近郊町村の連携支援）】 参加者 南十勝3町村（中札内村・大樹町・更別村）担当職員、保健所 延人数38人日 内 容 在宅医療フォーラムの企画、結果評価 ACP普及：人生の心づもりカードの活用状況、情報交換
釧路	釧路	【多職種連携協議会市町村担当者会議】 参加職種：市町村地域包括（保健師、ケアマネ、事務等） 内 容：①行政報告②医療、介護関係者の情報共有③釧路地域における入退院調整ルールについて

多職種連携協議会の主な取組（令和3年度）

2 多職種・専門職の研修

二次医療圏	所管保健所	内容
北渡島檜山	八雲	自立と生きがいを支える地域の仕事－CM/リハ目線からの多職種連携－ ①説明「北渡島檜山地域で目指す在宅医療のかたち」 説明者 北渡島檜山多職種連携協議会事務局（八雲保健所） 講義「歯科診療における口腔ケア・オーラルフレイル予防の実践について」 講師 きたひやま歯科クリニック 院長 堀口 陽祐 氏 ②説明「北渡島檜山地域で目指す在宅医療のかたち」 説明者「北渡島檜山地域で目指す在宅医療のかたち」 職種紹介・実践報告 (1)「住民と介護保険をつなぐ案内人～住民に寄り添うケアマネジメント～」 (2)「生きる喜びをともにともに分かち合える人～食べる・話すに彩りを～」 (3)「日常生活のスペシャリスト～家で過ごしたいを叶える～」
北空知	深川	オンライン多職種合同研修会「多職種支援」 ○話題提供①話題提供「お薬の話」 話題提供者：北海道薬剤師会北空知支部深川部会 薬剤師 ○話題提供②「認知症の親と家族の葛藤」 話題提供者：社会福祉法人幸鐘会 グループホームべにばら
留萌	留萌	「看取り支援を考える～最期まで自分らしく生きることを支える支援～」 ○講義 「看取り支援を考える～最期まで自分らしく生きることを支える支援～」 医療社団法人心優会 訪問看護ステーション季実の杜 所長 日野 陽子 氏 ○実践報告 「留萌管内における看取り支援の実践について」 報告者 小平町地域包括支援センター副センター長 三枝 麻貴子 氏 羽幌町立特別養護老人ホームしあわせ荘 介護支援課長 佐藤 麻里 氏

3 その他

南渡島	渡島	訪問看護ステーションにおける看取りに関する実態調査（南渡島管内37機関）
西胆振	室蘭	在宅療養者の食事に関するアンケート調査 高齢者の低栄養・口腔機能低下対策を目的とした普及啓発資料作成のための参考資料として、介護支援専門員の方を対象に、アンケート調査を実施
北網	網走	ACPにかかる実態調査（小清水町民対象に実施）